



地誌解題

二

ル 3  
809  
2



門品 3  
番 809  
卷 2



第六

別記三

河内

河内風土記 寫

又 寫

古風土記 殘本

河内鑑名所記 六冊 三田澤久

諸書より抜引て多し

河内名所圖會 六冊 秋田舜福

五畿の内 三冊 詳悉なり

八幡河陽記 二冊 不蒙此例者乃他あり

壺井宮御由緒書 一冊 寫

明治三六年  
十二月一日  
書

実験のりーと成志のり  
壺井八幡宮縁起 一冊 刻

古文書乃日紙あり

一宮神祠碑 一冊 刻

河内國觀心寺文書録 一冊 写

南朝の古文書あり 事實を得たり

河内細見園刻 鳴井某

子の傍名所五十三所とあり

和泉

和泉國風土記 一冊 写

終り三郡あり

和泉志 石塚直之

検定をりりりりりりりり

和泉名所園會 一冊 刻 秋里舜福

堰鑑 一冊 刻 衣笠宗葛

分門八水の詳密あり

大鳥大神宮并神鳳寺縁起 一冊 写

諸書より採りたり

蟻通明神考 一冊 刻 中沢呂吉

辨天の事あり

和泉國地圖刻 中谷願山

里数

和泉國志 一冊 写

著也 搜索より便あり

堰大繪圖刻 河合守清

踏程

榜津

撰津風土記寫

古風土記殘中

榜津群談

十一冊 園田經志

部分一々其跡隨の書あり

榜津國託

二冊

村名所名を託

榜津右蹟託

二冊

神社仏閣を隨意に書託あり

榜津國郡邑志

三冊

神社山川あり

名筆塚杖

三冊

國の名義郡名村里神社名所事實を撰  
ふと書むと云へ

榜津名所國會

三冊

秋里舜福

都名所國會あり

浪速濫觴記

二冊

古今の沿革を記す

難波名所蘆分舟

一冊

贅言多し神社名所舊跡あり

蘆分鶴

二冊

川合正俊

大坂の事巨細あり

難波鑑

一冊

一之羽道治

鴨女明ら四季物語あり

難波丸綱目

十冊

志田坦樹

大坂新湊山形ノ記  
浪華草再

名所古海ノ部分ノ記

浪速上古園日記中村直解

古書校証引一ノ并山ノ苗古雅定

難波舊地考再荒木田久光

考証明白

難波鶴跡再蘆雪

士民人救所立成記

大坂市城時大鼓銘再

僅一ノ四葉

有馬地志再馬川玄遠

轉例 通古ノ部分ノ記

有馬山名所記再平子以長

俳諧發句多

有馬名所鑑再

寺社因縁名所乃来由

有馬小鑑抄再

畫再ノ手ノ由

住去名所志再田奇某

礼祭古跡ノ指録

墨江記勝一ノ住者

古史記 尚否難定 諸子巨細ノ記

住去名所圖會再

神社祭礼年中行事

多田温泉記再馬淵醫主

温泉佳否論あり

抄別名所和歌写

諸書より載さる所あり参考に備ふ

浪速大寺古歌一首

所々ありなり

聖徳太子所一代長歌二冊

撰別神崎至境川各所記二冊

和歌あり

兵庫名所記再 植田下着

近地乃所跡古歌地圖考あり

兵庫築島物語須磨浦古蹟記各所記西宮案内者二冊

俗文共小冊あり

四天王寺伽藍細見名跡集二冊

摂津國勝尾寺縁起四冊

勝尾寺縁起三冊

借妄言

勝尾寺續縁起再 釋別傳

堂社来由施主名氏上流

多田薬師号縁起再

私考あり

貞享板大坂図刻

道程

大坂圖鑑綱目刻

神仏山川諸家屋敷

摂津國名所大繪首 刻

神佛山川古跡 着色あり

攝津大坂圖列

着色

大坂指掌圖列

体裁鄙俗方々々々 搜索又便方々

抄列大坂大繪圖列

印行力門々々 辨方々

撰方大坂圖列

諸大名其居安之方々々々 家録其方々

改正抄方大坂地圖 附藏屋為所 列

詳悉方々 沃田 益其年凡未暇稿其方々

抄列大坂古圖 寫

里野村名神社

上古難波圖

名源 圖中筆歷之詳 方々

應永中抄津國難波津之圖 寫

古方之附方

大坂御城内繪圖同御座形之圖 一袋  
合手引草令櫻御門内名石之方 寫

御城内巡見之時順路方 以下

大坂御城圖 寫

粗密方々

撰列平野大繪圖 刻 日野長久

神社

一乃谷圖 寫 兵家若其方々

抄方有馬勝景圖 刻

鮮明其圖方々 具系其方々 卷考其方々

四天王寺伽藍圖 刻

神仏氏屋布街山林古蹟

大坂御陣之圖 寫

兵家又出

大坂夏御陣之圖 寫

諸乃の陣取と記し姓名を去し戦死進退  
生捕斬首瘡者其人救ふ以て

撰大坂合戦陳取之圖 寫

前々同体より地理のより

大坂川西 加納大和守番士旅館之圖 寫

看也と今川

第七

別記

東海道

東海道名所圖會 刻 秋里舜編撰

東海乃名所記 刻

撰人より五十三驛物語と記し道心

者に托す

延宝板東海道中記 刻

道中心得事或巻首に記し種々細心

事或中記しあり

東海道巡覽記 刻

大曾根左兵衛著 軍學者之

東海道驛路鈴 刻 名所古跡社仏宮古蹟代筆實之記



東路陸士傳 五冊

神學 化有り

東海道千里友 一冊 松井

略圖 其由事と記

東海道諸譜 五冊

其所古海 其事いり 考証 と云へき事あり

東驛名所抄 一冊

詩奇 多し

武跡譚 三冊 拍寄 取以撰

武跡 いり 子 いり と あり たり 写者

乃筆 あり

房總志料 三冊 中井 国書撰

房總古説 傳同附録 五冊 吉野 重泰

房總名家傳 五冊 四人 著

多 く 故 方 未 だ 凡 そ 存 り 浅 廻 し 多 く

御勘定所古書附写 一巻

元禄 年中 乃 国 乃 所 改 乃 時 書 上 存

御勘定所古書附写郡邊之目録 一冊

天文 天正 之 頃 参 遠 兩 列 任 士 之 略 記 一冊

任 所 と あ け て 吾 姓 名 取 記 附 一 たり

天台宗諸寺分限帳 三冊

東 山 末 寺 の 略 記 有 参 遠 駿 甲 相 房 の 子

77

伊豆相模武蔵奇宝物記 一冊

古文 諸 拍 の 不 老 成 志 多 し たり

上総國真如寺古文书相模國弘徳寺由緒書 一冊

東海道分間繪圖

上紙

名所古跡巨細一考あり

又

刻

兵道里考以事終一

下総國埴生郡常陸國河内郡繪圖 寫

以不並一管陸方の正んきりりん

江戸海内外沿海地圖 寫

江戸内外沿海乃地理一冊なり

利根川荒川簡寫

着るがとてしつり

小貝川通畫圖

右殿着るを分々村名を 志す一たり

伊賀

伊賀風土記 寫

古風土記 残本

又

寫

前書と別あり

伊賀國名所記 寫

徳登永田

南國村名所和分を引く考証あり

伊水溫故

五冊

文字松随以事と多にたり

伊勢

伊勢風土記 寫

古風土記 あり

伊勢國風土記 寫

前と別なり簡略なり

伊勢風土記 写

業名負辨に二郡を存せしむ

又 写

同体なり

又 写

郡の名義を去る所の

又 写

古風土記残本

又 写 古谷久語

事跡考証稿

布留屋草命 写一冊 同人撰

凡七記と異種に体なり

勢陽雜記 写一冊

国郡地名義 勢運送の事なり

同 拾遺 写一冊 古谷久語

前書不備一々以集考証力可く云へ

背書國志 写二冊 同人撰

海内地理古今の事跡備いなる形

勢陽郡村名拔集記 写一冊

郡を分ち郡内領下支配付合印とその傍に

記れ

勢別古今名所集 写一冊

一獲れ古書なり

新編伊勢名所拾遺集刻 飛貞玄撰

名区と云ふ力心と非やと云へ

伊勢文庫記 写一冊 高橋利忠撰

歴代乃和歌と引く考証云々あり

東海道四日市宿御朱印証文之寫 寫一冊

伊勢國神名帳考證 寫一冊 度會延源撰

神境紀談同附録 寫一冊 度會延望撰

神風小名寄 寫一冊 荒木田成徹撰

事實及び古歌と引く事略詳のり

宮川東詠草 寫一冊 春忠告撰

地理の故実多し

齋居通 寫三冊 度會常彰

伊勢の古義取勢神仏驛路の事考し

齋居通翼 四人撰

大神宮司神事供奉記 寫一冊 大中呂長別

内外西大神宮遷宮次第記 寫一冊 度會延佳撰

二所皇大神遷幸要略 寫一冊 度會延良撰

其家伊勢の事と引くあり

西宮遷宮記 寫一冊

大神宮參詣記 寫一冊

大神宮の故実儀式を傳へて同卷に載して説

論あり

皇大神宮殿舎考證 寫一冊 度會延佳

伊勢兩大神宮末社記 寫一冊

神皇雜用先規録 寫一冊

大神宮神寶圖 寫一冊

伊勢參宮名所圖同附録 寫一冊 都関月撰

名區を詳悉して有

神風一覽 寫一冊 藤井の説津奇の流あり

伊勢參宮按内記每

旅行又々有卷記書以

伊勢神領内名所集每

古寺と引く考証

伊勢國地圖寫

勢州新古街道之圖寫

十二郡と凡著也といくそと多門別に郡界と

あり

伊勢二社三宮圖列

着色洋志 陸離くく人て想像可便

あり

志摩

志摩雜錄附志摩記每

神社仏閣の記より兵船軍より

志陽略志一冊 田理撰

分類して記 蒐羅考索より

あり

第八

別記五

尾張

尾張國風土記每

海部中島羽栗三郡と存する

尾張風土記寫

前乃風土記より

尾張國風土記

大体前々①

尾張名勝志一巻佳境遊覽

三冊

伊達隨庸撰

沿革と一々の顛り概一

尾張國民部省帳

三冊

尾州府志

三冊

松平秀雲撰

尾張の備忘

概略と云々

尾陽雜記

四冊

郡縣門目何人ぞ一見因と煩一む

渭陽事跡考

名古屋四方口々地勢の險易防戦乃得失  
と論及要するに兵學者は在り也

尾張舊説

一冊

山本松安

舊事に傳きて威と興一諸所乃書に  
して記す

尾張年中行事抄

三冊

小宮廣林撰

寺社の縁起或は里民の伝説に依り大概  
を記す

名古屋町並記

一冊

名古屋町乃来由沿革のらりて書上  
一書あり

尾張國人物志補遺の張城人物志

一冊

祠官畧記及び七覚釋氏畧記而して四巻  
取記一たり

尾張古城并人物志

一冊

尾張出生乃武士と九十五人の名氏とのり或は

又高名銀と云し所り夫より都を去るに  
セリ

総社恭請託尾張國司歴任略一冊 写

道路山川総社乃末由有実其狀記人

尾張國神名帳集記一冊 天野信景 写

尾引寺社領證印一冊 写

御由家外証字尾由家外証字等々所り

尾陽寺社志七冊 写

俗文傳所り

参考熱田大神縁起一冊 伊勢信氏参考

熱田大神宮縁起一冊 写

玲秘乃書所り 来由奥書所り

厚見草一冊 奥書に天野信景とあり 写

尾州熱田神社録一冊 奥書天野とあり

尾分津島天王祭記一冊 天野時綱撰

津一乃多礼了ありて撰らる所り

津島社古文書一冊 写

津島宮有り藤氏より高記あり

後醍醐帝時代の珍奇の文也所り

尾張國番 写

著とよし郡界とふ川の

参河

三河風土記 写

古風土記残本

三河國郡志一冊 写

古田傳の事取首と掲げ度忠より神社と

三河雀 二冊

卷末又奇蹟多し

三河國二葉松 寫一冊 右田孝撰

古城記古蹟記諸士出所傳より引抜して編せ

三河國檢地本帳附番 寫一冊

大猷公評上治より各郡各村の領主地頭より書上り書成集集一たるなり

三河國古蹟記 寫一冊

天皇より御詔に記先の蹟記なり

三河國古今城壘地理誌 寫一冊 渡邊寛秋

略記なり

三河古城古蹟古宅古跡圖書 寫一冊

城之姓名氏姓記一巻末図あり

三河古今地理志 寫一冊

諸書より引て編しなり

三河國濟領古文書 寫一冊

寺社所在所持の書抄寫成寫しなり

三河國行領古文書目錄 寫一冊

いつしを寛保二年迄に草葉なり

三河國鳳来寺略録記 寫一冊

淳暦夫れより公たり

三河國山中法藏寺觀音略録起 寫一冊

行基寺持より志こころに記れ

三河大樹寺傳記 寫一冊



種々の古書あり

三州大樹寺縁記 写

大樹寺は東由田記に録し、法上寺にありし本  
乃書あり

三列竜海院年譜之校書 写

東照宮冲事端又為酒井水事考に記

三列觀音院古塚一件 写

古塚あり種々乃奇書也一と記

三河國圖 写

暑色成りて於畏と多し

三列地理圖監刻 雜離一

古矣よりよりて之を成度ぬ一是別色新  
郷草れ小名古國に記せり之のた贅也

三州長篠合戦圖 写

陣立のしとつー地理に於て益あり

遠江

遠江風土記 写

古風土記残本

遠江國風土傳記 写 内山真流著

十三郡毎郡山川原野を表し及ひ古考の  
説引に記し注にあり

遠江國郡村領主附 写

郡高村数等あり

舊聞略記 写 源礼撰

古傳の地名を以て其故實を考へ記し  
種々其異聞あり卷末に諸説三條あり

振袖考記

写

源訪大

信濃守藤園弘撰

遠江名所和歌集

写

四人撰

歌を大書して其所を分注す

遠湯名所和歌集

写

古寺物引之証法

曳物拾遺

写

漢板よりうろた所四編と可なり

遠濱隨筆

写

神社考より坂上田村麿の系傳次次より  
碑名考の事次記より

遠江國寺社由緒書上

写

天子の零竊と藏より由と記より

遠江國繪圖

写

金屋傳之成圖

写

兵家者より出るに似たり地理より  
取られたる方面防禦等の事終り

第九

別記云

駿河

駿河風土記

写

古田土記

駿河國風土記

写

大伴義と同一

駿河國志 寫

又 古凡工記 殘本

又 大伴 寫

又 大伴 寫

大伴 寫

駿河志 寫

時候形勢と記

駿河草末 寫

駿河草末 下巻と抄とあり

駿河國志 寫 柳原長俊撰

遊歴し事跡を探索し二三里に及ぶ

或は乃古野先と聞ゆ

駿河國志補遺 寫 酒村維明撰

前の漏き一紙録し寺社あり一二とあり

駿河國郵記 寫

先総書と記し地頭乃姓名と載

駿河國巡村記 寫 山梨治憲撰

草稿あり

駿河國郡村巡名寄帳 寫

中川老澤が編成乃令受て記し

り乃其中島國改抄録しあり

駿府古文書 寫

珍奇の書あり

駿河名勝志 寫 川合長行撰

歌多し

駿河名所記 寫 小本

奥書又小川正氏所考の自筆本なり事實  
津漏文字拙

駿河名所記 一冊 写

同卷駿河の字体子様又此其議諦阿の友事  
未歴氏考す一如奇跡也

駿河深名所記 一冊 写

事實津漏取又足る

駿河案内記 二冊 写

駿河不<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>近在の案内を志る

駿城所番衆覚書 一冊 写

駿城所番衆見りたる

駿列山田在左出の祀事并浅間へ奉納額也 一冊 写

山田氏意馬車伝なる事故記一異國より渡り事

實を記凡頗る精

韓客過駿詩 一冊 写

士<sup>上</sup>峰<sup>下</sup>録 三冊 土師玄同撰

古書と録したるこの書搜羅いさく詳備せ  
はくはくも取へき多し作裁の といて其  
切と没るるふれ

富岳圖記附禹稷合祀壇碑圖記銘 一冊 庄允益撰

種々其山形圖と何し一巻未だ詳文と載  
る

富士百詠 一冊 加茂倫撰

一人て百首を仍らなり吟七言絶句なり

富士後編 一冊 同人撰

又五百首を得たりとて編しなり法家唱和

乃乃七河

契冲淡師夏士百首

刻一冊

精空心撰

駿別由外寺社為宝物

寫一冊

紫屋寺略圖

刻一冊

精宗長ノリアリ

駿河國四方國境圖

寫

未定紙圖なり

駿府城圖

寫

郭外諸士、邸第とリ、是社關い云よ及び凡

所ノ村々、是又城邊ナリ

慶長中駿府繪圖

寫

口前外吹所

駿府城圖

寫

四方の所地を限りし所場の所を圖ナリ

駿府圖

寫

駿府及び近在方角を國中山川道政村

並に着色して并列也

駿府巡見場圖

寫

府中より四方近在巡見便の所乃

場所を畫し圖とナリ

馬山名所圖

刻

純頂より半腹裾蓑に至るまで此宮社

寺院怪岩奇石未靈泉の類 巨細

とけり圖更し所をナリ

駿州久能山之圖

寫

着色しし想像し便なりし也

久能山圖

寫

市宮七郎史諸所門塚等排系属發する  
記附片

駿列田中城圖寫

此圖軍學者其手之出たり

甲斐

甲斐風土記 寫

古風土記殘本

甲斐國志

二十九冊 松平定信撰

部類之分て記す、旧祠古寺又収むる所

乃古書古券或は好事好家又傳る 書聽衆

ナト記して有り

甲斐志

寫

部類河く沿革風土と記片

甲斐國郡志

寫

國中其總志及物成令高書我記片

又

寫

古布孝慈撰

部類或分て記し人物の部存あり凡河内

す板垣信賴又至る卷末武田系圖有り

甲斐略記

寫

青木敷撰

郡名義乃遠へて成并し古書我載記す

甲斐名勝志

寫

萩原元克撰

郡名の痛り考授明白頗る地誌に併せたり

たり

甲斐國御領主代々歴

寫

天正十一年安永十一年乃領之時代左書の沿革成  
其代何久しと事實之なりて取らば多し

甲斐國三郡御村高帳 寫冊

高別乃事微細ニ記シたり

甲斐山梨八代巨摩三郡高帳 寫冊

巨細ト以テ記シたり

甲陽考話 寫冊 今川意信撰

甲陽考話見聞ノ事ト記シテ法以因ノ所記  
ト集メテ記シたり作裁部但ナト云々甲府代  
事ニ於テ云々

裏見寒話同進加内附録 寫冊

故記録ヤ河川之テ記シテ乃事アリ

実密アリ

甲陽隨筆 寫冊 加々美造清撰

其ノ本別以テ以テ巨細記テテ卷末ノ後云

旗子戎圖 寫冊

甲別記 寫冊

前々大田小異附録アリ前書ト異ルテ多ク事多ク

甲別巡見通行記 寫冊

御嶽山往來御嶽山ノ事実宝物制札ノ事  
記シ卷末ニ神祖四列物等アリ

甲斐諸要録 寫冊

古蹟山川城營下戰場淺ク事アリ怪談  
奇説等アリ

甲水源委 寫冊

河水ノ記アリ

甲別巨摩郡八日市場村聖眼王寺不動畧縁起 寫冊

天子及神德乃震翰等あり

石森山繪圖同附録 一冊 写

一山は地取成記一木取成所なり

火場余像菅神像埴輪圖 一冊 写

種々如考河平山潜成考あり

身延山圖 一冊 写

和弁河

身延鑑 三本 刻 粹亮

其地は東内堂塔は由来と物語は如く書  
略し一なり

身延山記 一冊 刻

祖師身延山に入り来歴あり身延山久遠寺者  
懐了終ふ

猿橋碑銘 一本 刻

猿橋此圖乃末より不取成所なり

甲斐國圖 写

着色し并別あり

甲斐國地圖 刻

按て寺形又たあり

身延山圖 写

真圖着色あり河今國富士山富士川天子嶽  
白根嶽三所頗る詳備あり

又 刻

一摺れ圖なり諸圖と異なり

御嶽圖 写

山川地名村落七圖其美奈河なり



甲州府中之城圖 写

軍學者のよきよき出たり

甲州府中御館之圖 画

軍學者のよきよき出たり

甲州古府中右水寺要害之圖 写

軍學者のよきよき出たり

茅十

別記七

伊豆

伊豆志 二册 写

奥書に伊豆國田方郡住人伊東氏祐入道道  
以傳書と書集欠たり蒙り

伊豆雜志 一册 写

伊豆國高風天社社作舟乃如、温泉四十  
八箇所の武士乃人名書と考たり

伊豆郡村志 一册 写

總高津料取料考以志一たり

一册 写

總高并四郡乃高十組の系と志一組  
乃高并内田方畑と高十組の人数と記し

巨分勝覽 一册 秋山章

考証精核といふ也

伊豆順行記 三册 写

一村毎に四方の限り記し、山川土産雜記  
乃横巻古蹟文記卷乃目録といふ

夏志稿

寫<sup>十三</sup>冊

秋山章

地界ノノ譜

乃事<sup>二</sup>ノ<sup>一</sup>

伊豆鑑

寫<sup>一</sup>冊

地界<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>領寺領<sup>二</sup>ノ<sup>一</sup>差別<sup>一</sup>ヲ志<sup>ス</sup>ル

伊豆國土産録

寫<sup>一</sup>冊

各自<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>性<sup>一</sup>質<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>異<sup>一</sup>名<sup>一</sup>大<sup>一</sup>小<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>寸<sup>一</sup>尺<sup>一</sup>及<sup>一</sup>ハ  
之<sup>一</sup>所<sup>一</sup>在<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>地<sup>一</sup>名<sup>一</sup>等<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>余<sup>一</sup>或<sup>一</sup>志<sup>一</sup>スル

熱海地志

寫<sup>一</sup>冊

鈴 秋山撰

郡類<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>方<sup>一</sup>々<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>志<sup>一</sup>スル

熱海案内記

寫<sup>一</sup>冊

今井常

詩歌<sup>一</sup>俳<sup>一</sup>酒<sup>一</sup>多<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>卷<sup>一</sup>末<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>心<sup>一</sup>得<sup>一</sup>書<sup>一</sup>ヲ<sup>一</sup>稱<sup>一</sup>ス  
ニ<sup>一</sup>案<sup>一</sup>ヲ<sup>一</sup>懸<sup>一</sup>ク

走湯山縁記

寫<sup>一</sup>冊

文義支那<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>語<sup>一</sup>ヲ<sup>一</sup>解<sup>一</sup>ス<sup>一</sup>ル<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>方<sup>一</sup>々<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>志<sup>一</sup>スル  
性<sup>一</sup>質<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>取<sup>一</sup>ル<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>方<sup>一</sup>々<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>志<sup>一</sup>スル  
之<sup>一</sup>類<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>取<sup>一</sup>ル<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>方<sup>一</sup>々<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>志<sup>一</sup>スル

伊豆七島明細譜

寫<sup>一</sup>冊

詳悉<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>記<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>方<sup>一</sup>々<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>志<sup>一</sup>スル

巡海録

寫<sup>一</sup>冊

岡信<sup>一</sup>撰

漂流<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>人<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>同<sup>一</sup>答<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>事<sup>一</sup>ヲ<sup>一</sup>記<sup>一</sup>ス

伊豆海島風土記

寫<sup>四</sup>冊

風<sup>一</sup>土<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>産<sup>一</sup>物<sup>一</sup>ヲ<sup>一</sup>記<sup>一</sup>ス

八丈島記

寫<sup>一</sup>冊

前<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>風<sup>一</sup>土<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>記<sup>一</sup>ヲ<sup>一</sup>八<sup>一</sup>丈<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>記<sup>一</sup>ニ<sup>一</sup>採<sup>一</sup>出<sup>一</sup>ス

南方海島志

寫<sup>三</sup>冊

秋山章

気候<sup>一</sup>風<sup>一</sup>土<sup>一</sup>ノ<sup>一</sup>産<sup>一</sup>物<sup>一</sup>ヲ<sup>一</sup>記<sup>一</sup>ス

八丈島小島書々魯筆代誌 一冊

魯中の筆記より大坂治札沿革願主久松氏  
所領之以後人民の事情の事と記す

八丈裁衣織 一冊 服部為高撰

土地風俗産物草木鳥獸の事と魯中の俚俗  
と河川の事と乃同と記す

八丈筆記 一冊 古河辰撰

異聞多し

流人所敬免并夫之覚状 一冊

巽無人島書留 一冊

里数と産物

無人島相済 一冊

凡て遊びて無人島に落着き一時の記す

無人島談話 一冊 曾繁撰

漂流し世に魯に到りて其の事あり其同  
乃物語なり

無人島談話同附録 一冊

前巻と同様なり

無人島漂流記 一冊

魯所より無人島に到りて其の事あり其同  
其の事あり

無人島古城圖 一冊

北条氏流城の事あり

日金山碑圖 一冊

魯所より魯國に眺るなり

八丈島圖 写

神祠 古月堂記あり

延享三年見分無人島之圖 写

希也毛々行り

相模

相模風土記 写

古風土記 残本

又

古風土記 残本 前二頁

又

前二頁

相模郷村手鑑 一冊 写

村名或出—順流逆流等記法—人数家数  
等或記法

新編鍾金志 一冊 河井恒久撰

地界と宿—古蹟等事記述

鍾金志 抄語 一冊 中川喜雲撰

古蹟抄語あり

鍾金江島名勝志 一冊

前二頁—古蹟抄語あり

鍾金抄語 三冊 写

源基氏より持氏と云々さの事或記法

鍾金名所記 一冊

鍾金名所記 柳屋の澄觴名所古蹟と云々

江島大草子 一冊 釋田撰

首卷より江豊名義あり後より古蹟あり

温泉名勝志 一冊 深義方

凡そ凡そ古蹟あり

相別塔澤温泉記 一冊 釋瑞巖

病有り因りて令く安んじとの事あり

北条分限懐郡村 一冊

卷首より小四系所領後述とあり

小四系小系分限懐郡村 一冊 田澤義章

遺漏多し一々取り多し

海鏡猿田彦 一冊 立根不角

細細巻の爲に作らるる是なり

三崎誌 一冊 本村某

細細の爲に作らるる是なり

相州度沃篇百姓 堀内幸左衛門所藏古文書写 二冊 異本あり

鴨立澤縁起 同所見御前影像縁起 一冊

細細多し取り多し

和漢田鳥集 三冊

詩文如分細修と河川記

遊行歴代宗鶴岩記 一冊

遊行の年数凡そ日記一巻末より古文書二

通あり

遊行寺什物并古文書

参考に備ふるべき書あり

鶴岡八幡宮古文書 一冊

古戦場古文書多し

藤澤寺宇賀神縁記 一冊

諸國へ下りし御教書類可

大山不動靈驗記十五冊 釋養智撰

其靈應奇牘乃事公輯録

相模国大山縁起一冊

仁程の

東慶寺舊記一冊

舊記乃披書

天令堤碑銘一冊 田中丘阿

治水の功と碑の業

鎌倉圖一冊

是圖並本

鎌倉勝槩圖一冊 泰丸

似閑神社より古跡より

相模鎌倉郡之圖

刻多分令写

江之愈圖一冊

地界より神仏社関より

相列足柄下郡小田原市城圖

編葉丹後寺城之たり

元亨稱名寺圖一冊 泰丸哀書

第十一

別記八

武蔵上

武蔵風土記一冊

古凡之記残本

武藏風土記 写

前と異なり有り

又

写

前と同一

又

写

前と同一但し卷末に異書有り之を附書し之を  
後記

又

写

前と同一お換風土記

武藏田園簿

写

官撰田園簿より添う所 御帳付書あり

武藏國郡村名寄帳

写

元禄年間所記の

武藏國郡村記

写

元禄間有り

武藏志稿

写

風土土産田畠等多少を記し有用な書あり

新編武藏志料

写

山岡俊明撰

前と異なり有り

武藏志料目錄伊呂波文

写

前巻の目録あり

武藏野地名考

写

田澤義章

武藏國村々明細書

写

御料所より呈書あり

武藏演路

写

大橋方長

地理誌

一 江戸名所調覽  
題同書異名之

江戸圖説 二十五冊内五六三卷欠 大場方長

江戸地不精 一冊 諸書古稀多代輯録人

江戸志 二冊 近藤義休

江戸砂子と以て根拠 一冊 虫屋の書なり

古郷帰江戸咄 八冊

事實 一冊

江戸名勝志 三冊 藤原之康

諸書と志考 一冊 西実分所記

江戸名所記 七冊

極く疎陋の書分あり御坊なり

江戸菴 十三冊

蒐輯の方格 一冊

紫一本 三冊

事實精 一冊

江戸総帳子 七冊

類聚くわし考案凡具し下なり

江戸総帳子名所大全 七冊 奥村玉華子

方角石下土産精 一冊

江戸童 三冊

方角古蹟精 一冊

江戸砂子 三冊 兼思治涼撰

續江戸砂子 五冊 同人撰

前記漏れしものより攪碎根巻の事ニ場

再校江戸砂子 八冊

校正勉えりしものなり

加賀美氏江戸砂子書入 一冊



加賀美氏の本より抄出たり有り

江戸内免具里一冊

諸方へ一冊 七記凡

武藏野古物一冊

寺社の事多し

南向茶話一冊 酒井忠昌

市入國以来地理変革しそ不審なりとて問答

有北一と書し有り

江戸慶拾一冊

怪異記多し

江戸町鑑一冊

日本橋より諸方通法と記凡

江戸改随記一冊

江戸端より近在までの新規家作類或は  
新し道と用ゝ類記凡

諸家道案内記一冊 橋井末

諸家萬石より以下百石までその姓名支

死後名高住所と記凡

諸家大座安寄帳一冊

水戸殿より山口伊豆より

河越城記一冊

引用此書 二十三種有り

河越素題一冊

川越中流名取古蹟等有り

本所深川地層安寄帳一冊

武家町方寺社の坪数と記凡

河越城下所榎本孫九郎の萬葉書 二冊

根繁の書

上水記 一冊 石野廣通

玉川津田西上水の水源よりゆく事と記

世田谷松記 一冊 穂積隆彦

清入玉川の武蔵國の領地清能分姓名打

玉川披砂 三冊 石田暉

隅田川雜詠 一冊

事考

隅田川考 一冊 中津守節

字彙と石

三芳野名勝圖會 三冊 中島孝昌

関脩齡の在所舊蹟一記

武蔵國三芳野名所舊蹟 一冊 関脩齡

江戸近在所名集 一冊 鶴海一漢

御澄多

後編所名集 一冊

集古一滴 一冊 加賀貞遠清樸 近世守樸

江戸近在所名集 古物と輯録

武江披沙 一冊

古物と輯録

武蔵國高麗郡村の明細書 一冊

平沢村より直竹村まで

武蔵國多摩郡村の明細書 一冊

上本木村より専枚村まで

武藏國多摩郡之内 多西村高帳 写一册

武藏國葛飾郡村々大概書 写一册

武列仙波川越由来其外是聞記 写一册

江戸川通川除扒掘組合 写一册

黑水西岸行 写一册

茶臼多一

雨乃舎 写一册 加茂

水奈多一 奇聞毛抄

武野八景 写一册 藤原忠休

多持河 多一

泉編山景境詩彙集 写一册 程用仁

訪更

産物記 写一册

古器古書あり神仏故事多し

第十二

別記九

武蔵下

四神地名録 写一册 古川辰

今我受下 神仏伝説 若所齋藤古器探窟

武蔵國府中神社記 写一册

近世事寅卯由緒其事卷尾見記也

武蔵國風土記并六社縁記 写一册

六社縁記之移り多し

新田大明神縁起 写一册

義興一世の事あり記し多し後年報

鷹水顯然たつ成海人

江府神社歌記 二冊 刻 免寺嘉敷

神社の語と年一たり

王子権現縁起 一冊 写 羅山撰

武藏國豊島郡平家庄日暮里邑諏訪大明神 二冊 刻

縁起源訪澤光寺八宗天竺弁

寺七藏板りく過安の如所一為一て施り也

るれ

梅若権現神縁起 一冊 写

稲荷山縁起 一冊 写

杜撰多し

守鑑集 二冊 刻 宇野某

編例正しうらん 換関はたし

清府内寺社帳 八冊 写

東都伽藍記 一冊 写

豊荘三十二寺書注 一冊 写

秩父縁起靈驗因通傳 六冊 刻 釋田宗

堂宇の廣狹并字の寸尺及び造者人名靈

験の事記凡

秩父通志 一冊 写

事實取へき多し

秩父順礼獨按内記 一冊 刻

縁起由来由と記しを村々其事記凡

秩父巡覽誌 一冊 写

靈験事實及び傳言と記凡

東嶺山縁起 一冊 寫 釋宣存

武州東嶺山新建瑠璃殿記 一冊 公辨親王撰

勅令供奉の儀式舞樂に於て之を記す

浅草寺観音縁起 一冊 寫

隅田川本母寺略縁起八景詩各并和歌 一冊 刻

慈光寺寶録附本下川薬師縁起 一冊 寫

越生竜徳寺記録 一冊 寫

正説多し古来世傳に在るを録し之

秋萩譜 一冊 横山潤

字説培養等と西人考証頗密なり

武藏國柏木方丈の櫻物語 一冊 寫

右方門より電を以て振るはるる櫻の物語なり

### 義士遺物目録 一冊 刻

兵者の目と記し右方方寸考なり

墓所一覧 一冊 刻

安永以来諸名家の墳墓の所在を記す

武少神奈川浦島塚縁起 一冊 刻

妄説なり

道灌立碑文 一冊 石正掎

飛鳥山碑如示 一冊 成島和昇

飛鳥山十二景和歌 一冊 芥川寸草

武藏國圖 寫

各部の経界と編し村名も書記す

長緑江戸景 寫

特野閑川の景なり

江戸古繪圖附録 三冊

慶長中古圖 紙

慶長年中江戸古圖 画

元禄板江戸古繪 紙

殘闕 共中一換刻 紙

寛永九年江戸繪圖 画

武市豊島郡江戸庄園之圖傍海道里程之記 紙

正保江戸繪圖 画

著也 紙

寛文板江戸大繪圖 刻

遠近道印 江戸繪具新蔵本より 紙

延宝二年江戸大繪圖 刻

書肆の沛出の所 紙

貞享板江戸大繪圖 刻

圖傍に諸大名の家紋知行道具屋敷

等取詳記 紙

元禄三年分間江戸圖 刻

遠近道印 紙

元禄十三年江戸圖 刻

遠近道印年月と七次牙を改り 紙

元禄八年分間江戸圖 刻

前より一沿革 紙

寶永江戸大繪圖 刻

数字の叙言あり

宝永江戸繪圖 刻

四方より十二丈と記し一方向に 紙

正徳二年江戸繪圖 刻

正徳三年分同江戸大繪圖 刻

為り大伴同一年月異なり

享保六年江戸景 刻

江戸圖中其界詳忠なり

享保七年江戸大繪圖 刻

名所異名方角大槩に記したる

所府内割繪圖 六套

種々部分して圖書せり明水以後寛政以前の

りの有り

江戸割繪圖 八鋪

未定此書外刻

江戸圖 鏗綱目同首 一鋪

刻 石川俊之

先乃難記と改免府内乃異名并名所  
亦法以可武家町々乃事以之なり

江戸方角安見圖 二冊

地理乃端あり

江戸傍近圖 一鋪

若川平次書

命成受く近郊を巡り神社古蹟其地之

村継繪圖 一鋪

寫

四方十二支配市の圖とありり遠近街道の

名領石字村數とありたり

市之家鷹場繪圖 一鋪

寫

郡界ハ曼線を用ひ道路ハ朱線を用ひ

小菅所殿總繪圖 一鋪

寫

上へ書上へ画あり

武蔵野副備

一紙

松村信利

田代義明教法指針を考へ此圖を以て圖と刻  
ふといふ

本所深川地圖

一鋪

着色の例白灰屋敷と紅瓦神社と  
水と一線土色と一沙青灰町屋といふ

玉川上水圖

一冊

方位取柄を以て國傍又黄引朱引あり

玉川備

一鋪

御領丸屋と多分御代友地取の各取花一那境  
花地、朱線取以てあり

武蔵國荏原郡不繪圖

一鋪

着色とを以て玉川

武蔵國多摩郡府中六所宮道之圖

一鋪

三街道取分を以て

柳營秘圖

三鋪

御本丸西丸等取圖あり誤りありあり

又

一鋪

着色は標を以てありありありあり書所書正記記

聖堂繪圖并献上目錄刻

群書祭器樂器文房器等共献上り 名氏取

一冊

昌平坂學問所圖書鬼狀頭之圖

學問所再建後繪ありあり鬼狀頭正西六寸大

及び四方取記あり

金竜山淺草寺觀音境内

一鋪



諸堂社乃来由と一多八

第十三

別記

安房

游房筆語 二冊

東龜年

唐人と洋語

改正安房國全番

一冊 秦摠九

着色紙とくろり

上総

上総國村高帳

九冊

寛政文庫改らるる

上総國望陀郡村々明細書

二冊

体例上下

土気古城再興記

二冊

土気古城再興の事蹟記—酒井代々の法号等  
事蹟記凡十五卷あり

小櫃山白山縁起

一冊

傳説不詳

上総國笠貫郡縁起

一冊

改正上総國令圖

一冊

秦摠九

和可也七附載

下総

下総風土記

写

古風七代残本

下総志料 二冊 一名下総風七代

抄録 別

伏倉風土記 一冊

正説風土記の一事代々川之輕視也

総業概録 一冊 磯野昌言

事實味漏文辞迂遠之々若後銷簡異同の憂

下総國葛飾郡村之御書 二冊

川島村奉之御書

関宿傳記 一冊 今泉政隆

神社以關四詠名所意之隨之筆記凡燕雜志

許我志 三冊 原念存

舊墳人物諸史稗記より輯出して引向人

國府臺軍記 一冊

清平考々あり

高天大神熊座畧記 一冊 荒井敦

的説

船橋神明由致書 一冊

其末由致書より一と一船橋の事大徳在る

本土寺過左帳 三冊

討死戦闘其年月とありて一益ありと云

總勢印幡其伏倉城圖 一冊

神祇伝説あり

下徳園鈔子図 一冊 写刻

常陸

常陸風土記 写

古風土記残本

又

此書取く 常陸國志 一冊 水府所撰

古く類聚常陸國志 一冊 水府所撰

大明一統志 水府所撰

常陸國村々明白書 一冊 写

附田地歩丈事あり

又

一冊 写

二十一村あり

笠岡城記 一冊 久保慈

事跡舊聞は事跡出入神祇伝説を一枚と下し

一書あり

常陸遺聞 一冊 写

事跡の事あり

龍虎山記 一冊 写

事跡は予多し 卷末記聞秘録あり

鹿島津物忌由来記 一冊 刻

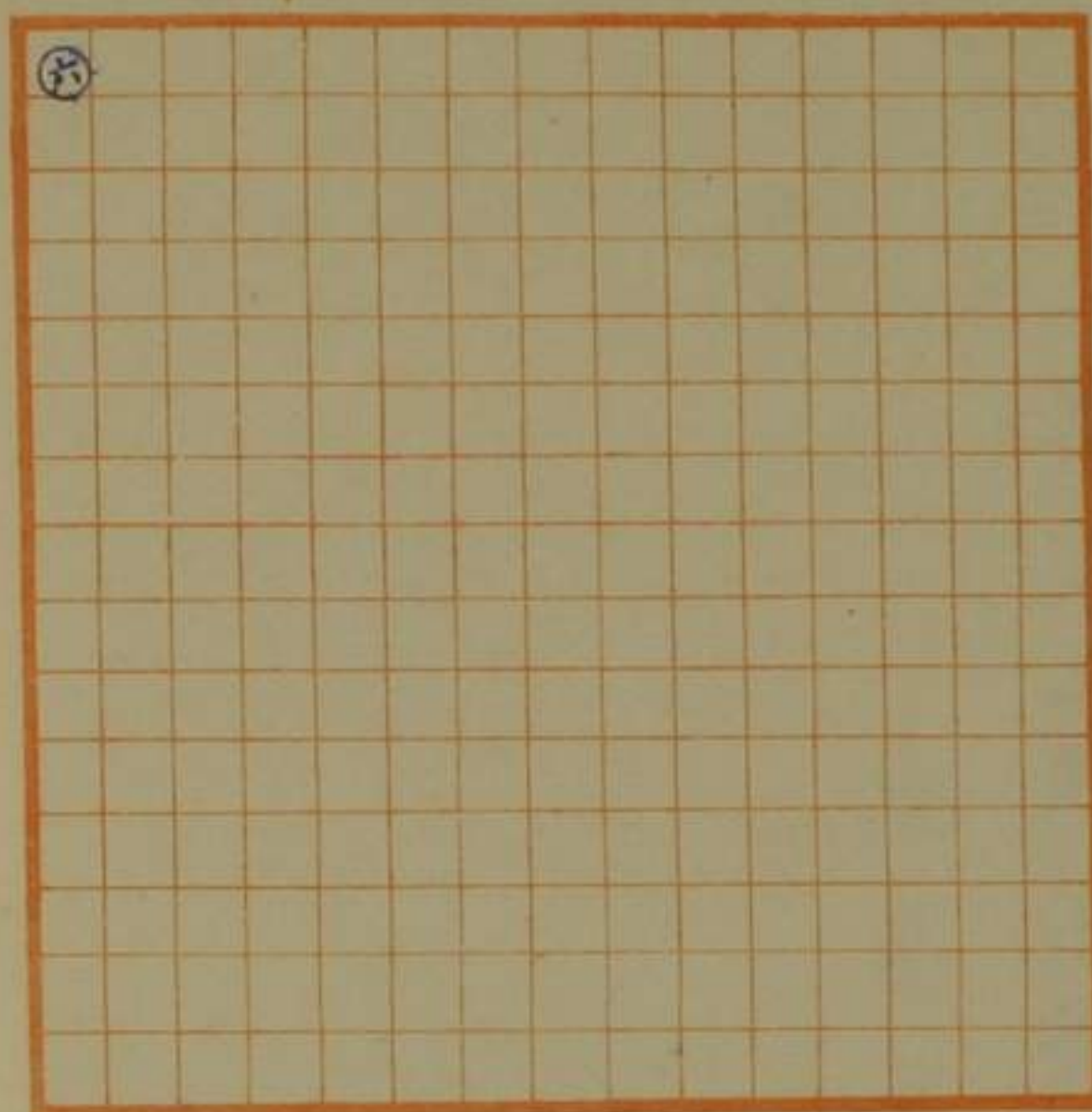
上古以来奇客の式と龍虎山神道其の説ありと伝

是くあり

筑波山典故 一冊 写

类書に縁起あり古書取引くあり

5年 月



筑波山名跡志

二冊

釋亮威

藥日院文書

五冊

考末の如く河

古書數十部河

常光東城寺来由記

一冊

釋靈天

一鋪

少々々々

筑波山名源志

二册

釋亮威

藥王院文書

寫

考案之如千河

古書抄十部

常光東城寺来由記

一册

釋靈天

筑波山界繪圖

一鋪

跡思考少々々々

